

寺  
ごよみ

七 月

一 日 音沢お講④

八 日 仏教入門講座

九 日 清掃奉仕

一五 日 永代経準備

一七 日 お寺座ライブ

## 永代祠堂会

一六 日 中陣お講

仏婦物故者法要

一七 日 内陣法名法要

一八 日 寺族物故者法要

総代物故者法要

戦没者追弔法要

一九 日 ご満座

内陣法名法要

講師 利井唯明師



## 寺報

善 巧

発 行

〒 938-0862 富 山 県  
黒部市宇奈月町浦山497  
白 雪 山 善 巧 寺  
T E L (0765) 65-0055  
F A X (0765) 65-0975  
メー ル info@zengyou.net  
U R L http://www.zengyou.net

七月十六日〜十九日  
永代祠堂会  
講師 常見寺住職  
利井 唯明 師

今年には祖母喜子の三回忌と父隆弘の十七回忌の年です。お坊さんをしていると他の方よりも圧倒的に法事経験は多いのですが、やはり身内の法事になると、一味違う心持ちにさせられます。

病中も力強く生き抜き、最後までプライドを護り続けた祖母。病中も楽しくと痛みに苦しみながらも活き活きと生き抜いた父。共にぼくの心に深く刻まれる生き様と死に様でした。

「法事とは、仏前にて阿弥陀如来の教えに触れながら、故人を偲びつつ、感謝のこころをカタチとして表現したものです。」

「ありがとう」のこころをカタチにあらわした姿。今、ぼくは祖母と父になにが出来るのだろうかということに想いを馳せます。

何人もの患者の死を看取ってきたある医者がこ

## いただきもの

んなことを言われたそうです。

「今までは他人が死ぬぞと思いに、俺が死ぬとはこいつはたまらん」

死は必然、生が偶然とは頭で知りながらも、やはり実感はなかなか持てるものではありません。

ぼくが祖母と父に出来ること。それは今までもちつ

たものに対しての感謝と懺悔。これからもらい続けるものに対しての感謝と懺悔。そしてその「ありがとう」と「ごめんない」の

心こそが祖母や父からの頂きものでした。祖母と父を通して、仏さ

まの光に想いを馳せつつ、悔いのない人生を歩めるよう、心新たにさせてもらいます。

永代経はご門徒みなさまの法事がお寺で勤まる法要です。どうぞどうぞお参りください。

善巧寺住職

雪山 俊隆

ア  
ミ

花

## 紙上法話「香り」と「癒し」

行信教校講師 山本摂叡師



二・三年前のこと。娘が「お線香」を買ってききました。このごろは普通の店などでも、「かおり」系のグッズがよく売られているようです。友達と買い物の中で、見つけてきたのでしょうか。その夜のこと。何かに気づいた私は、娘の部屋を開けました。

「わっ、わわわわ。はっ、

はやく窓、窓、窓一つ。」もうもうと煙る部屋の中に、娘がニタリと笑いながら、「というのは嘘ですが、その臭かったこと。小さな部屋で焚くには、無理があつたようです。家中大騒ぎ。ひとりプライドを傷つけられた娘だけが、ごきげん斜めでした。

五月待つ花たちばなの香をかげば昔の人の袖の香ぞする

(五月を迎えて咲く橘の花の香り。私のほろにがい、昔の恋の思い出が甦るよ)。

陰暦五月、いまの七月なかばでしょうか。たちばなの花の香りから、昔の恋人のことが思い出されるというのです。平安朝の人々は、自分の身に着けるものに、それぞれ工夫をこらして「かおり」を薫じつけていたのです。確かに「かおり」は、独特の世界をもっています。本物の「お香」をご存じでしょうか。特別に高価なものでなくともかまいません。炭の上に「銀葉」と呼ばれる雲母を置いて、ひとかけらの「香木」をのせます。適度に調節された熱気が、「香木」をあたためます。

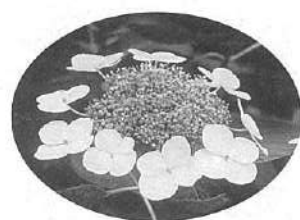
「香木」をあたためます。炭の上に直接おくと、熱が高すぎるのです。そこからほのかに醸し出される香りがいいのです。

このごろ「癒し」という言葉をよく耳にします。「かおり」「音楽」「ひと、

その雰囲気の中に浸っていると、心から落ち着ける世界。私たちが「癒し」を求めるのは、ふだん、どこか本当でない自分を演じているからでしょう。あるいはそういう思いが強い人ほど、「癒し」を求めると言ったほうがいいかも知れません。

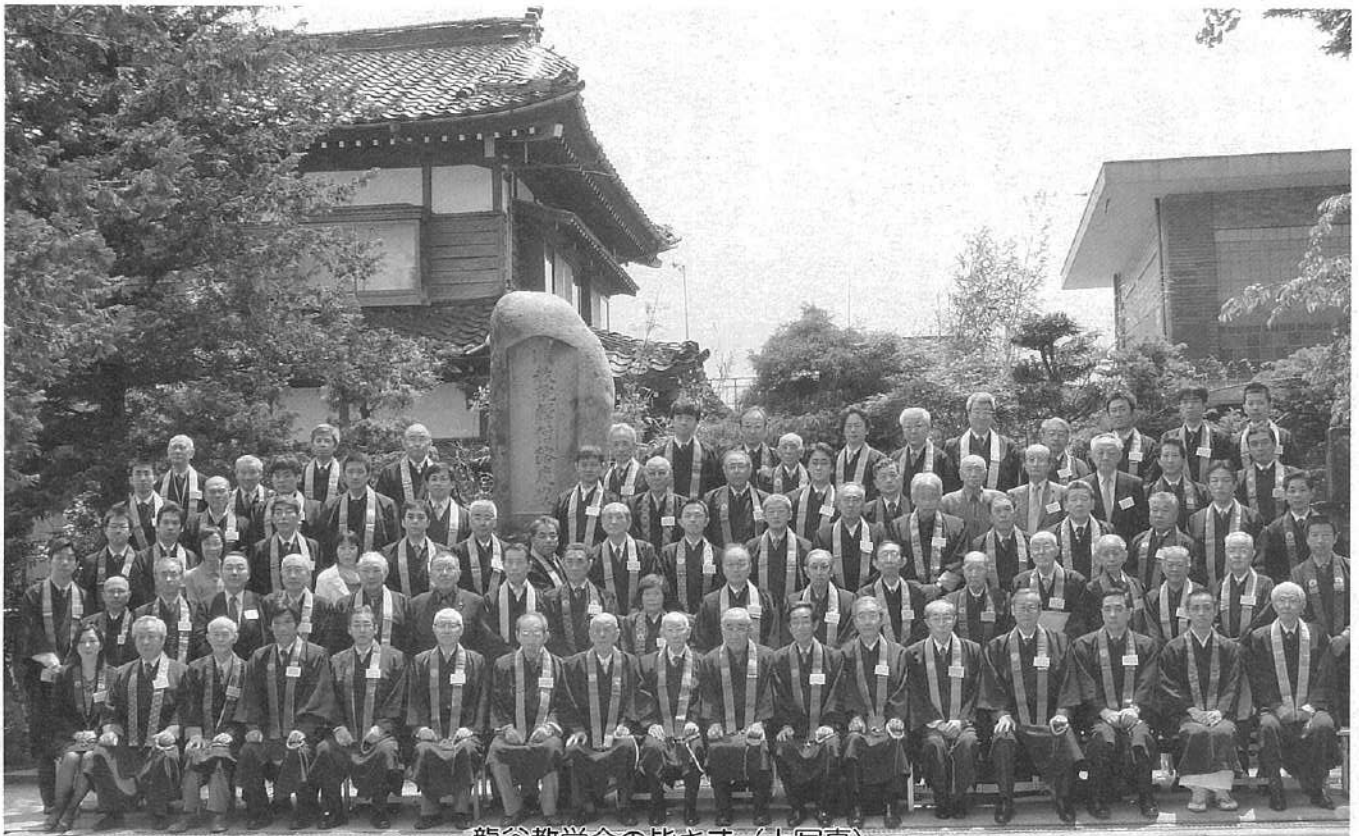
ところで私は、本当の「癒し」は宗教の世界にこそあると思うのです。宗教は決して人を攻撃したり、また激しく自分を叱咤激励するものではありません。浄土真宗でよく、「ありのまま」という言葉が使われます。

少し説明が必要です。「ありのまま」は「このままで良い」という開き直りとは違います。心の中に、「羨望」「嫉妬」「怒り」「さげすみ」「我欲」「執着」「名誉欲」「権力欲」…、さまざま



な醜いものを抱えたまま「良い」はずはない。これらは文学や芸術の原動力にはなっても、宗教からは否定されるべきものです。とは言っても、これらの感情を否定はできない。結局これらの感情とどうつき合うか、そこに人生の面白さと難しさが生まれるのです。それに疲れたとき、人は「癒し」を求めます。

「癒し」は「自分さがし」と言い換えることができるでしょう。「自分さがし」の旅に出られたみなさん。一度、親鸞聖人の世界をたずねてみませんか。



龍谷教学会の皆さま（上写真）、  
高岡万常寺無常講の皆さま（右下写真）、ようこそご来院くださいました。

book

本

## 赤いバラは赤いまま

雪山 隆弘著 本願寺出版社刊 105円

ことは著者の17回忌。大阪生まれの著者が書いたテンポのいい文章は、いつまでも色あせず、いつまでも赤いバラのようだ。

本紙「赤光白光」欄に1985年4月から5年にわたり執筆した中から、よりすぐりの52編をまとめた『赤いバラは赤いままー弥陀のメッセージをあなたに』（本願寺出版社刊、1050円で発売中）の中から15編を収録して小冊子にした。

富山県・善巧寺で主宰していた児童劇団「雪ん子劇団」の子どもたちや家族、そして門信徒との何気ない会話などから、身近に息づく浄土真宗にスポットを当てる。「ほうわ・HOWA・法話」の第12弾。50部以上



# 花の誕生会

四月二十三日

今年の花まつりでは赤ちゃんの初参りに十組の参加。赤ちゃんの誕生を仏前にてみんなで喜びました。チューリップの花が一面に飾り付けられた境内では、バイオリン・ストの野崎弘通さんと中国笛奏者門島寿人さんのミニコンサート。野崎さんは雪ん子劇団の劇挿入歌作曲して頂いたご縁で、こどもたちやOBも参加させてもらいました。門徒会館では、画家中村美涼さん（下立）の釈迦誕生絵をメインにした絵画展。切り絵のインパクトと、色彩豊かで優しさ溢れる作品に観賞者から感嘆の声。例年以上に賑やかな花まつりとなりました。ま

だ参加され  
ていない方  
は是非来年  
遊びに来て  
ください！  
毎年四月の  
下旬日曜日  
に予定され  
ています。



受式者の方々。おめでとうございます！



鬼原六義さん（浦山新）の写真が  
北日本新聞読者写真コンクールで見事一席を受賞！



## チューリップで飾られた境内 ～富山～



富山県黒部市の善巧寺（雪山俊隆住職）では4月23日、約15万のチューリップの花を境内に飾り盛大に花まつりを開催。子どもたちや高齢

者福祉施設の入居者など約150人が華やかなムードの中、春の訪れを楽しんだ。

チューリップは、同寺門徒の球根農家で処分される花びら部分を再利用。花で飾られた特設ステージでは、ミニコンサートや同寺の児童劇団「雪ん子劇団」の子どもたちの元気な歌声が境内に響き渡った（写真）。初参式も行われた。

雪山住職は「花まつりをにぎやかにすることで、赤ちゃんや多くの人たちに参拝してもらえて良かった」と話す。



## 釈迦誕生描く 力作17点並ぶ

黒部で絵画展

黒部市宇奈月町下立の画家中村美涼さんの「MISUZU絵画展」は8日から、同市宇奈月町浦



山の善巧寺門徒会館で開かれ、釈迦が誕生した様子を描いた作品など十七点が来館者の目を楽しませた。写真。

絵画展は釈迦の誕生日（八日）を祝い、二十三日に善巧寺で予定されている花まつりを彩ろうと、同寺が中村さんに依頼して開かれた。

展示作品では「釈迦誕生絵」や動物が漫画風に描かれているものが目を引いた。水彩絵の具、アクリル、色鉛筆などで色付けしてある。二十三日まで。

## 富山のMISUZU展

「1度見に来られ！」

善巧寺（雪山俊隆住職、富山県黒部市宇奈月町浦山497）では、花まつりに併せて「花降ル春ノ日ニ—MISUZU絵画展」を4月8日から23日の午前9時から午後5時まで同寺門徒会館で開催する（月曜休館）。入場無料。

MISUZUは地元で絵画制作を続ける中村美涼さん。パステルカラー調の切り絵「釈迦誕生会」や動物画など約20点が展示される（写真）。

最終の23日午前10時からは、チューリップで境内を華やかに飾られ花まつり法要が営まれる。問い合わせは同寺☎0765（65）0055。



## 富山文化



中村美涼さん  
「釈迦誕生会」  
絵画展

## 独自技法で明るい世界

MISUZU絵画展で展示されている。動物を好んで描く中村さんは、アクリルのほか、水彩、鉛筆、色鉛筆など、さまざまな技法を使い、明るく、温かい世界を描き出している。富山県黒部市宇奈月町下立の画家中村美涼さんの「MISUZU絵画展」は8日から、同市宇奈月町浦山の善巧寺門徒会館で開かれ、釈迦が誕生した様子を描いた作品など十七点が来館者の目を楽しませた。写真。

新設は二年に思い、一仕事で新しい世界を描き出している。富山県黒部市宇奈月町下立の画家中村美涼さんの「MISUZU絵画展」は8日から、同市宇奈月町浦山の善巧寺門徒会館で開かれ、釈迦が誕生した様子を描いた作品など十七点が来館者の目を楽しませた。写真。

# 総代会、教化推進協議会 六月十一日

六月十一日午後一時、十七年度善巧寺総代会が開かれました。

住職、野島責任役員のあいさつから始まり、新総代六人の紹介と委嘱状授与が行われ、議事に入りました。

十七年度の行事報告、会計報告および監査報告があり、全員で承認。十八年度予算につ

いては、営繕費に五十万円上乘せしたので、その使途については責任役員と営繕部に一任することになりました。また、昨年からの要望のあったほんこさん廻りについての見直し案が法輪寺若院から説明されました。今年から実施されますので、寺報に

ご注意ください。音沢・栗虫などは大幅に変更されます。

総代会に引き続いて、教化推進協議会に移り、各教化団体の代表、大藪実子さん、久田英子さん、大藪節子さん、神子久美さんより行事報告をして頂きました。



(平成18年 4 月 1 日～19 年 3 月 31 日) 単位：円

| 費 目     | 17年度決算額    | 18年度予算額    |
|---------|------------|------------|
| 1. 布施収入 | 11,128,312 | 11,180,000 |
| 年中行事    | 1,519,940  | 1,540,000  |
| 門徒法要    | 9,608,372  | 9,640,000  |
| 2. 寺費   | 4,856,000  | 4,856,000  |
| 3. 雑収入  | 123,000    | 100,000    |
| 4. 繰越金  | 534,612    | 701,233    |
| 合 計     | 16,641,924 | 16,837,233 |

| 費 目      | 17年度決算額    | 18年度予算額    |
|----------|------------|------------|
| 1. 寺院維持費 | 2,870,760  | 3,440,000  |
| 宗派課金     | 532,110    | 550,000    |
| 公租公課     | 39,500     | 40,000     |
| 諸会費      | 46,000     | 50,000     |
| 営繕修理費    | 1,613,140  | 2,150,000  |
| 保険費      | 640,010    | 650,000    |
| 2. 寺院運営費 | 5,796,588  | 6,150,000  |
| 教化費      | 604,489    | 650,000    |
| 法要費      | 1,530,130  | 1,600,000  |
| 会議費      | 152,600    | 300,000    |
| 門徒接待費    | 365,225    | 400,000    |
| 事務費      | 373,908    | 400,000    |
| 管理費      | 1,440,236  | 1,500,000  |
| 専門教育費    | 1,300,000  | 1,200,000  |
| 雑費       | 30,000     | 100,000    |
| 3. 人件費   | 7,200,000  | 7,200,000  |
| 4. 予備費   | 73,343     | 47,233     |
| 合計       | 15,940,691 | 16,837,233 |
| 差し引き     | 701,233    |            |



丸田一夫さん  
(中陣)



藤澤秀光さん  
(栃沢)



尾澤清浩さん  
(中新)



鬼原 猛さん  
(浦山新)



中山慶一さん  
(浦山)



谷川正明さん  
(下立)

## 新総代紹介



八 日 仏教入門講座  
一 二 日 花の会

寺  
ごよみ

九 月

二 六 日 雪ん子野外公演  
「全国青少年演劇祭」

一 九 日 雪ん子滋賀公演  
一 六 日 盆会

一 五 日 こども盆おどり  
一 三 日 青年盆会

一 二 日 前々住職  
釈俊之祥月

八 日 仏教入門講座  
二 日 花の会

一 日 石田・生地お講

寺  
ごよみ

八 月

## 仏教婦人会研修旅行

六月二日、晴天に恵まれた善巧寺仏婦研修会は「恵信尼様を訪ねて」と企画したところ、四十名の参加申し込みで楽しいバス旅行となりました。

車窓から眺めながら坊守さんの親鸞様、恵信尼様のお話を聞いて、当時を身近に感じながら現地に着きました。

おかげさまで恵信尼様のご廟所法要にあうことができました。ゑしんの里記念会館では恵信尼様のお話をお聴聞し、感動と共にお人柄や心のやさしさを知らしめられました。また、本願寺国府別院で親鸞聖人の



ブロンズ姿に思わず手を合わせた次第です。

一人一人の思いは違っても恵信尼様に対する想いはそれぞれに違っても、慈しむ心は変わらない、いい研修旅行でした。

仏婦会長 久田英子記

## …花まつりに寄せて…

四月二十三日、花まつり。チューリップの花で境内中がかざられている。本堂の階段を上りきった所に誕生仏が甘茶の鉢の中に小さく可愛いお姿で立っていらつしやる。

式は十時に始まった。日曜学校生たちが花をお供えし、卒業生がお灯火を献ずる。花の会の歌声と共に受式者が入堂。

五人の僧侶方のお勤めに続いて記念念珠が贈呈される。赤ちゃん達が保護者に抱かれて座るとご住職がお数珠を小さな手にお掛けになる。なんとも愛らしく晴れ晴れしい。

その後は坊守様のお話。クイズ入りのお話。クイズ入りの楽しさの中に「お釈迦さまからお父さんお母さんまでみんなのおかげで生まれたよ、ありがとう」の心をお話になる。式



の後、吉田鳳華ちゃん（二才十カ月、魚津、絵本が大好き）のご一家にインタビューした。鳳華ちゃんは七人の身内の方に見守られての初参式。お父さん（禎験さん）「初めてのことなので何もかもびっくりし感動しました。」

おかあさん（由香理さん）「花まつりには幼い頃来たことがあります。初参式は初めてです。式では特にお数珠を頂いたのが嬉しく、また、命の繋がりというところに新たに感じ入りました。」

父方のおばあさん「心から感激しました。宗派は違っても仏さまはお一人とお思いました。坊守様のお話が心にしみて涙がでました。」この他に、

母方のおじいさんおばあさん、父方の叔母さんも終始にこやかに付き添っておられた。母方のひいおばあさんは、参列をお勧めになった方。式の前から境内に来て祭りの雰囲気浸っておられ、凡てを見届けて「ありがたい」と結ばれた。

四世代にわたる命の繋がりを目の当たりにした花まつりであつた。

野崎静恵

## お寺座ライブ

～お寺に若者が溢れる日～

7 月 17 日 pm7:00/会費2,000円



「お寺は文化の発信地」をキーワードにお寺で音楽会を催します。出演者は、インド音楽の日本第一人者弘雄介さん、DJサワサキヨシヒロさん、お坊さんミュージシャンおまけびとさん、日本のロックシーンに多大な影響を与えている曾我部恵一さんです。そこにお寺ならではの読経と一口法話も入ります。今の若者云々を語るならば、まずこの現場にご参加を。子や孫にも是非一声かけてみてください。音楽が好きな人ならきっと驚かれることでしょう。お申し込みは善巧寺 (65-0055)までどうぞ。

## えいたいし どうえ 永代祠堂会

七月十六日 十一時

中陣お講

一時

仏婦物故者法要

十七日 一時

内陣法名法要

十八日 十時

寺族物故者法要

総代物故者法要

戦没者追弔法要

一時半

前住職、前坊守

回忌法要

十九日 一時

ご満座

内陣法名法要

講師 大阪常見寺住職 利井唯明 師

最終日十九日には余興(十二時過ぎ)やバザーもあります。どうぞお参りください。

### 前住職前坊守回忌法要

七月十八日午後一時半

前住職釈隆弘十七回忌

前坊守釈慶喜三回忌法要

を永代経中におつとめ致します。



故人の在りし日を偲びつつ

どうぞお参りください。



### 清掃奉仕お願い

七月九日午前八時半

(雨天順延)

### 青年盆会

八月十三日

### こども盆おどり

八月十五日午後六時半



### 盆会

八月十六日午前十時半

ここ一年で身内を亡くされた方は特にお参りくださいますように。

### 雪ん子野外公演

八月二十六日午後七時

### フタからのメッセージ

午後八時～九時

七月八日(土)

八月八日(火)

九月八日(金)

住職俊隆と、坊守玲子が月替わりで仏教入門講座をはじめました。おかげさまで、毎回参加者が増えております。どうぞお茶を一杯飲みにくるぐらいのお気持ちで気軽にご参加ください。



### 合 掌

この三カ月の間に何人の方が善巧寺を訪れてくださったことでしょう。花まつりには七人も家族を連れてきてくれた赤ちゃん。お寺と雪ん子を見たいとバスを仕立ててお越しくださった氷見組の皆さん。龍谷教学会議富山大会では勸学さん数人を含む学者方がなんとバス二台で八十余名もお越しくださいました。それはそれは見事な光景でした。お寺参りとサツカーの合宿をかねて関東から若者たちが、ホームステイのアメリカの高校生が。門徒さんの法事や定例の会などを含めると千人を超える人がこの善巧寺を訪れてくださったと思います。弥陀のメッセージはすごいぞと讃嘆していた前住職、その通りですね。



(R)